

学校保健委員会だより

城西中学校

11月13日に学校保健委員会を開催しました。

学校医、学校歯科医、PTA 会長・副会長、教職員が集まり本校の健康課題について協議しました。

今年度は、コミュニティースクールでもある本校に日頃より地域の声を届けて下さっている学校運営協議会の委員の皆様にも御同席いただき、健康課題についての共有を図ることが出来ました。以下は参会者の発言です。



養護教諭
山岡・國安

今年度の健康診断や生活習慣のアンケートの結果について説明しました。

- ・健康診断の結果、病院受診の必要がある人が病院を受診した割合が低い
- ・2年生でテレビ・ゲーム・SNSなどの時間が長い
- ・3年生で歯垢や歯肉の状態に注意の必要な生徒が多い



体育主任
竹下

今年度の体力テストの結果や現在の体育の授業の現状について説明しました。

徳島県平均と城西中学校の体力テストの結果を比べると、「走る」「投げる」「跳ぶ」などのシンプルな動きの種目の結果が悪い傾向にある。



栄養教諭
市瀬

今年度の食育の取組について説明しました。

- ・城西中学校の伝統で、食に関する興味・関心を高めるために、お弁当の日を年2回実施している
- ・肥満傾向の生徒への食事・健康個別相談や、部活動生に向けたスポーツ栄養の指導なども積極的に行っている



PTA 役員

学校からの配布文書は、子どもが渡してくれないと文書が配られていることにも気づいていない事がある。成績表などの重要な配布物は、メールで配布連絡があるので、保健関係も重要な内容の配布文書はメールで案内をしてもらえると、意識して文書を読むことができる。



学校歯科医
折原先生

う歯の割合は近年減少している傾向にあるが、一部の人では未処置歯を複数抱えたまま放置している現状もある。歯垢や歯肉の状態に注意が必要な生徒が多いので、歯と歯ぐきの健康を保つために、昼食後にうがいや歯磨き粉を使用しない歯ブラシでのブラッシングをすると良い。



主任学校医
久保先生

新型コロナウイルス感染症は、5類になった現在でも多く発生している。若い世代では、重症化せずに治癒することが多い。今年は、例年よりかなり早い時期からインフルエンザが流行している。新型コロナウイルス感染症もインフルエンザも、出席停止期間を守りしっかり休養することが、早期回復や感染拡大防止に繋がる。

二次検診受診率の低さについて、肥満生徒に対しては周囲へ配慮をしながら繰り返し保護者へ受診の促しをしていくように養護教諭へお願いしたい。